SMIC

SENJU METAL INDUSTRY CO., LTD.

COMPANY PROFILE

千住金属工業株式会社 会社案内

© 2026 Senju Metal Industry Co., Ltd. All rights reserved.

991J-2611-0500

www.senju.com

経営の理念

有用な製品を
世に供給することで、
公器としての
使命を果たす。

実　力

必要な能力、プロになること

誠　実

人間としての良心、正しい心を持つこと

闘　魂

困難なことにも挑戦し、克服すること

トータルソリューションで、
次世代の接合技術構築戦略を、
グローバルに展開していきます

千住金属工業株式会社は、1938年4月、株式会社千住鉛工場として創業し、以来、一貫してエレクトロニクス・機械産業関連分野の製品を手がけ、長年にわたり産業界に寄与・貢献してまいりました。常に、品質を極めようとする熱意で激しい時流の変動に即応する経営を心がけ、皆さまのお引き立てにより着実に業績を拡大しております。その結果、はんだ部門・FA装置部門・軸受部門を基軸に、スプリンクラー・産業分析・海外子会社などSMICグループが一丸となってグローバルに総合的な接合技術を提供する企業体に成長いたしました。「より創造的な技術で最良の製品を供給する」ことを基本理念におき、ニーズに適応した高い品質と創造的な技術でグローバルな展開を進めております。

近年、半導体・電子部品から電気電子機器・産業機器・建設機械・自動車産業まで広い領域で、環境保全・資源重視・気候変動・安全志向など新しい社会的要請が生まれてきました。このような背景を強く意識し、総合的なソリューションを生み出す新しいイノベーションの構築も進めております。また、創業理念である先進技術への挑戦を続けて、次世代先端分野にふさわしい新領域の研究開発・製品化の取り組みを増強・拡大いたします。

近い将来、起こると予測されている大震災を想定したリスク管理をさらに強化し、事業活動における透明性と説明責任を果たすためのCSR活動の継続的な推進を図り、お客さまとの密接なパートナーシップをより深め、相互信頼性を促進する努力を重ねてまいります。

代表取締役社長
鈴木　良一

技術の挑戦が次代のモノづくりを切り拓く

千住金属工業は1938年に創業以来、はんだ材料を中心に、FA装置やすべり軸受などのジョイントシステムテクノロジーを発展させ、エレクトロニクスや自動車をはじめとする幅広い産業の進化を支えてきました。近年では、めっき用アノードや耐防食用合金線など新たな材料分野へも事業領域を拡大。時代ごとの課題に応える技術革新を積み重ねながら、世界のモノづくりに新たな価値を創造し続けています。

1955

日本で初めて やに入りはんだを生産開始

やに入りはんだとは、糸状のはんだの中央部にやに（フラックス）が入っている製品です。汎用品として、ご家庭から工業用にまで幅広く普及しています。このやに入りはんだを「スパークルハンダ」として日本で初めて製品化したのが、千住金属工業です。スパークルハンダは、ラジオやテレビの配線用として開発され、日本のエレクトロニクス産業の発展に大きく寄与しました。また、1956年には、はんだに関して初のJIS・日本工業規格の標示許可を取得しました。





写真上は、初期のやに入りはんだです。テレビ・ラジオ組線用スパークルハンダとして生産が開始されました。

1990

連続生産を可能とした 窒素雰囲気リフロー炉を開発

フロン規制を背景に実装基板の無洗浄化が進むと、無洗浄対応のソルダペーストでもぬれ性が確保できる、窒素雰囲気下での加熱が検討されました。当初は加熱炉の出入り口を密閉し、窒素を充填する方式のリフロー炉が使用されていましたが、連続生産性に課題がありました。そこで当社は連続生産を可能とすべく、出入口が開放された状態でも低酸素濃度を保てる窒素リフロー炉を業界に先駆け開発。SXシリーズとしてリリースし、その基本技術は現在のSNR-GTⅡシリーズに連綿と受け継がれています。



SX-2510N$_2$

1995

すべり軸受の 鉛フリー化を開始

当時のすべり軸受には、すべりを良くする特性に優れた、鉛の含有が一般的でした。一方で、環境面での懸念が高まる中、千住金属工業は2003年のRoHS指令告示の8年前には、鉛含有品と同等以上の性能を保ち、鉛フリー化を実現した「クリーンメタル CB90」の開発・販売を開始しました。サスペンションの動きをスムーズにできることから、オートバイのフロントフォークで採用されたのを皮切りに、今では自動車のショックアブソーバをはじめ、多くの採用実績を誇ります。現在では使用箇所に応じた微妙な調整を行い、多彩な焼結技術・製品を展開しています。

クリーンメタル
CB90



1996

世界に先駆けて、 「鉛フリーはんだ」を開発

はんだは紀元前から続く約5000年の歴史がありますが、その中で主成分となってきたのは、スズと鉛からなるSn-Pb系はんだです。しかし1990年代、鉛による地下水の汚染が環境問題となり、鉛の全廃を望む声が高まっていました。
千住金属工業は世界に先駆けて、信頼性の高いSn-Ag-Cu系鉛フリーはんだを開発し特許を取得。代表製品である「M705」は多くの製品で採用され、世界の標準的な材料として鉛フリー化が促進。地球の環境保全に大きな貢献を果たしました。現在でも、用途に応じた鉛フリーはんだを数多く開発し、さらなる挑戦と進化を続けています。

ECO SOLDER

2011

「IATF 16949」の 認証を取得

千住金属工業では1994年のISO 9001の認証取得にはじまり、その後ISO/TS 16949への登録更新を経て、2018年には自動車産業の国際的な品質マネジメントシステム規格である「IATF 16949」の認証を取得しました。自動車産業界のサプライチェーンにおいては、大変重要な認証取得です。

はんだ業界で唯一RBAに加盟し 「紛争鉱物不使用」を宣言

千住金属工業は2009年から紛争鉱物不使用への取り組みを開始。精錬所の監査を実施し、紛争鉱物不使用を確認。2011年に「紛争鉱物不使用」を宣言しました。

Responsible Business Alliance
Advancing Sustainability Globally

RESPONSIBLE MINERALS INITIATIVE

※RBA（Responsible Business Alliance、責任ある企業同盟）
※RMI（Responsible Minerals Initiative、責任ある鉱物イニシアチブ）

2018

環境ビジョン2050を策定

千住金属工業は、事業活動を通じてゼロエミッション社会の実現に取り組んでいます。持続可能な社会の構築に貢献するため、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現を目指した環境ビジョンを策定し、継続的な活動を行っています。

2020

低温実装技術 「MILATERA」を発表

「MILATERA」は汎用的な鉛フリーはんだより融点が約80℃低いはんだを用いることで低温実装を可能とし、CO_2削減に貢献する実装技術の総称です。
名称の由来は「MILA（未来）+TERA（照らす×ラテン語の地球・大地）」であり「未来の地球を明るく照らす」という意味合いを持たせています。

MILATERA
Low Temperature Soldering for Earth

2023

培った技術を、多彩な事業へ

はんだ材料を核に発展してきたSMICグループ。材料、装置、分析、防災など
幅広い事業を通じて、産業の発展と安全・安心な社会づくりに貢献しています。

はんだ・接合材料事業

千住金属工業

エレクトロニクスの進化を支える中核事業です。はんだ材料をはじめ、
幅広い接合材料の開発・提供を通じて、世界のモノづくりに貢献しています。

ソルダペースト、ソルダボール

スマートフォン、パソコンなどの電子機器や家電製品、それらの内部に使われる半導体などの電子部品、大型発電設備や通信インフラなど、幅広い分野でソルダペースト、ソルダボールが使われています。あらゆる電子機器の高性能化を支える材料です。



ソルダプリフォーム

電気自動車や新幹線、自然エネルギー発電設備などで大容量の電力変換を行うパワーモジュールには、ソルダプリフォームが使われています。モビリティの電動化や自動化、再生可能エネルギーの効率的な供給に欠かせない材料です。



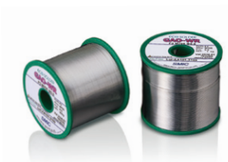
棒はんだ、めっき用アノード

家電製品用基板などのフロー実装には、棒はんだが使われています。実装の黎明期から、エレクトロニクス産業を支えてきた材料です。また、実装工程の生産性を向上させるプリント基板のめっき処理には、スズアノードが使われています。



やに入りはんだ

やに入りはんだは主に、家電製品の電源部分に多く搭載される大型挿入部品のはんだ付けに使われています。手はんだ、ロボット、レーザーなど工法に合わせた製品を提供しています。



フラックス

フラックスは、はんだ付けを補助する材料です。ソルダボールのはんだ付けにもフラックスが使われており、半導体部品の製造で重要な役割を担っています。また、フロー実装にもフラックスが使われています。



産業機器事業

千住金属工業・千住システムテクノロジー

はんだ付け装置や関連副資材の提供を通じて、実装工程を総合的にサポート。
材料と装置の両面から最適な実装環境を実現します。

はんだ付け装置

電子基板製造の主流である表面実装にはソルダペーストを用いるリフロー炉、大型部品などの挿入実装には溶融はんだを用いるフロー装置が使われています。実装対象に合わせ機能を最適化した装置を取りそろえています。



焼結材料・特殊合金事業

千住金属工業

軸受製品で培った技術を基盤に、焼結材料や特殊合金を展開。
素材技術を通じて産業の発展に貢献しています。

すべり軸受

すべり軸受は、自動車・バイクなどのショックアブソーバや、建設機械の足回りに使われています。農業機械の油圧ポンプやモータにも使われており、世界の食料問題解決に貢献しています。まさに、生活の足元を支える製品です。



特殊合金材料

特殊合金材料は、合金化や成型加工が難しい金属を使用した製品です。水道鋳鉄管を2倍長寿命化する防腐表面処理用の亜鉛-スズ-マグネシウム合金線や、ハイブリッド自動車エンジン効率向上実現のキー技術に使われる銅系合金粉末など、未来につながる技術に使われています。



分析事業

産業分析センター

長年培った材料分析技術をいかし、幅広い分野の品質評価や環境対応を支援。
分析の力でモノづくりを支えています。

材料分析・モノづくり支援

エレクトロニクス分野を中心に、非鉄金属や有機材料の分析を行っています。SMICグループで培った知見と多様な分析技術を活かし、研究開発、品質保証、実装不良の要因解析など、お客様のモノづくりを支援しています。



規制物質分析

RoHS指令やPFAS規制など、国内外で強化が進む化学物質規制に対応した分析サービスを提供しています。豊富な実績と高い分析技術により、製品の安全性確保とコンプライアンス対応に貢献しています。



消火設備事業

千住スプリンクラー

はんだ技術を応用した消火用スプリンクラーヘッドで、国産型式第1号として承認。
国内トップシェアを維持しながら、半世紀以上にわたり人命と財産を守り続けています。

消火用スプリンクラー

世界中の住宅・ビル・公共施設・地下駐車場などの消火設備に、消火用スプリンクラーヘッドが使われています。消火散水時の流水を制御するアラーム弁も製造しています。



泡消火薬剤

従来の泡消火薬剤に含まれる有機フッ素化合物(PFAS)に着目し、SMICグループは総合技術力を結集して、PFASフリー泡消火薬剤「AwaAwa10」を開発。高い消火性能と環境配慮の両立を実現しています。



持続可能な社会の実現に向けて

私たちは、環境への配慮をはじめ、社会との共生と健全な企業活動を通じて、
持続可能な社会の実現に貢献します。

Environment／環境

環境ビジョン2050

SMICグループは、気候変動、資源循環、生物多様性など地球規模の環境課題に真摯に向き合い、
事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。

3つの重点テーマ

1
脱炭素社会の実現
事業活動における省エネルギー化と温室効果ガス排出量削減を推進し、カーボンニュートラルの実現を目指します。

2
循環型社会の実現
資源の有効活用と廃棄物削減を進め、限りある地球資源の保全に取り組みます。

3
自然共生社会の実現
生物多様性保全と環境負荷物質の適正管理を通じて、人と自然が共生する社会づくりに貢献します。

第二次環境プラン（2020～2030年度）

環境ビジョン2050で掲げる3つの社会の実現に向け、第二次環境プランに基づき環境活動を推進しています。
各事業における環境負荷の低減と資源の有効活用を通じて、持続可能な成長を目指します。

CO_2排出量削減
**2013年度比
25％削減目標**



省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの活用を推進し、CO_2排出量の削減に取り組んでいます。

製品リサイクル推進
**3Rの考え方に基づく
資源循環への取り組み**



廃棄物の発生抑制や再資源化を推進し、資源の有効活用と循環型社会の実現に取り組んでいます。

化学物質管理
**環境負荷の低減と
適正管理の徹底**



化学物質の適正管理を徹底し、環境負荷の低減に向けた活動を推進しています。

生物多様性保全
**地域社会と連携した
環境保全活動の推進**



自然環境への影響低減に努め、地域社会と連携した生物多様性保全に取り組んでいます。

Society & Governance／企業活動

社会とともに、信頼と責任ある企業経営

お客さま、従業員、地域社会をはじめとするすべてのステークホルダーから信頼される企業であり続けるために、
安全・品質・コンプライアンスを重視した企業活動を推進しています。

人材育成と働きやすい職場づくり

社員一人ひとりの成長を支援し、
多様な人材が能力を発揮できる
職場環境づくりに取り組んでいます。

- 教育研修制度
- 技能伝承
- 安全衛生活動
- 働きやすい職場環境



品質への取り組み

品質は企業活動の根幹です。
お客さまの期待に応える製品とサービスを
提供するため、継続的な改善活動と
品質マネジメントを推進しています。

- 品質マネジメント
- 継続改善活動
- グローバル品質体制



コンプライアンスとガバナンス

法令遵守と高い倫理観に基づき、
公正で透明性の高い企業活動を
実践しています。

- コンプライアンス教育
- リスク管理
- 情報セキュリティ
- 内部統制



地域社会との共生

事業活動を通じて
地域社会との信頼関係を築き、
社会の発展に貢献します。

- 地域活動への参加
- 教育支援
- 環境保全活動
- 社会貢献活動



ヨーロッパ
5か所
うち製造拠点
1か所

アジア
18か所
うち製造拠点
10か所

アメリカ
7か所
うち製造拠点
3か所

SMIC GROUP GLOBAL NETWORK

日 本
18か所
うち製造拠点
8か所



〈千住金属工業株式会社 国内拠点〉

- 本社……東京
- 営業拠点……岩手　宮城　福島　東京　愛知
  富山　長野　滋賀　兵庫　福岡
- 製造拠点……岩手　栃木（2か所）　埼玉　愛知
  兵庫（2か所）　宮崎

千住金属工業株式会社 ／ 千住金属工業グループ
Senju Metal Industry Co., Ltd.
DUNS# 690663091

〈設　立〉
1938年4月15日

〈本社所在地〉
〒120-8555　東京都足立区千住橋戸町23

〈代表取締役社長〉
鈴木 良一

■ 事業規模

売上高（連結）	1,573億円 （2025年1月～2025年12月）
資本金	4億30百万円 （2025年12月現在）
従業員数（連結）	2,198名 （2025年12月現在）

〈主要関連会社〉

■ 日本
株式会社産業分析センター
千住スプリンクラー株式会社
千住システムテクノロジー株式会社

■ アメリカ
Senju America Inc.
Senju Comtek Corp.
Senju Fire Protection Corp.

■ ヨーロッパ
Senju Metal Europe GmbH
Senju Manufacturing Europe s.r.o.

■ アジア
Senju (Malaysia) Sdn. Bhd.
Senju Trading (M) Sdn. Bhd.
Senju (Thailand) Co., Ltd.
Senju Solder (Phils.) Inc.
天津千住消防器材有限公司
天津千住電子有限公司
上海千寿企業管理咨詢有限公司
千住金属（上海）有限公司
千住金属（惠州）有限公司
千住金属（香港）有限公司
千住電子材料（香港）有限公司
台灣千住電子股份有限公司
台灣千住半導体股份有限公司
韓國千住金属株式會社

拠点情報　2025年 12月現在